

まちなかににぎわいを

中心市街地の動きや今後の展望を、まちなかで活躍する3人がトークセッション！
問合せ 中心市街地活性化室 ☎89・1414



みなと のりかず
湊 哲一

ミナトファニチャー 代表
 合同会社のしろ家守舎 代表社員
 [主な活動]
 モクトサイコウプロジェクト/のしろ
 いち/ちいさなシゴトのつくりかた



さとう かれん
佐藤 香蓮

中心市街地活性化 地域おこし協力隊
 [主な活動]
 商店街イベント支援/しごとーいの
 しろ/焼き芋でほくほくまちづくり/
 プラザ都 de 健康教室



ふくだ こういち
福田 幸一

幸和リース株式会社 代表取締役
 中心市街地活性化推進協議会 会長/
 能代商工会議所 副会頭/NPO 法人能
 代市スポーツ協会 会長/一般社団法人
 あきた白神ツーリズム 代表理事

今年度を振り返ってみて どうですか？

〈湊〉マルヒコビルディングが
 グランドオープンしてもう少
 して1年になります。初めに
 2階のオフィスをオープンし
 て、昨年4月にカフェと地
 下の工房を始めたんですけ
 ど、カフェに関しては1月か
 ら練習オープンして、まだ
 メニューもなくて全員素人
 で、試行錯誤を繰り返しまし
 た。「能代でカフェって大丈
 夫？」って当初はよく言わ
 れ、僕も不安だったのですが、
 徐々に軌道に乗ってきたと感
 じています。まちを盛り上げ
 るためにも、商店街が稼げる
 ようになるためにもイベント
 を継続していくことは大切だ
 など思っています。
 木都というキーワードを大事
 にしていて、地下にある工房
 の仕事も最近徐々に増えても
 ってきているので、木の仕事で
 ちゃんと基盤をつくっていき
 たいですね。

〈香蓮〉協力隊になってもう
 すぐ2年半です。イベントの
 連続で、あつという間に過ぎ
 るなっていうのが実感です
 ね。最近、二ツ井の梅内に引
 越したんですけど、能代って
 面白いですね。能代と二ツ井
 の雰囲気全然違うんです
 よ。能代のまちなかは、便利
 で楽しいし、自然豊かな二ツ
 井もすごく好きで、それぞれ
 良いですね。どちらも知った
 からこそ見えることもあるな
 と最近思っています。情報発
 信に関しては、情報量とス
 ピード感が大事だと思ってい
 て、夏場はSNSを毎日更新
 していましたね。



▲マルヒコビルディング 1階カフェスペース



上:事業に挑戦したい人が学ぶ場「ちいさなシゴトのつくりかた」
 参加者がチャレンジショップとしてのしろいちに出店。
 下:佐藤隊員がプラザ都で開催している健康教室。ここでの会
 話が活動のヒントとなっている。

この先やりたいことなどを 教えてください

〈湊〉まちが盛り上がってき
 ているなって、今まではイ
 メージでしかなかったけど、
 ちいさなシゴトのつくりかた
 を市と一緒にやってみて、小
 さな芽がいっぱい現れたと
 か、それが本当に実感につな
 がるしワクワクでしかなく
 て、最近は僕らより下の世代
 の能代に帰ってくる人が増え
 てきたし、能代のために何か
 したいという若い人も増えて
 きた。マルヒコができたから
 集まってきてくれたという話
 を聞くと良かったって思える
 し、積み重ねですよね。

〈福田〉2人とも頑張りがよ
 く目に見えて、地域が動き出
 してきたのをものすごく感じ
 ますね。マルヒコプロジェクト
 ともちいさなシゴトのつくり
 かたもそうだし、周りの変化
 を実感しています。成功して
 いるまちづくりの事例の多く
 がスモールサクセスの積み重
 ねなんです。大きなイベント
 を打ち出しても2・3年はい
 けるけど、継続が難しい。逆
 に2人のような活動は、一つ
 ひとつは小さいけど、積み重
 なって周りが巻き込まれて
 いったって、いいまちづくり
 になっていくと思っています。



▲みんなの拠点「comore」

お店やイベントのにぎわいだけじゃなく、中心市街地に住むということもすごい大事だと思っっています。とはいえまだボヤツとしたイメージしかないのです、実験的に以前ミナトファニチャーで工房として使っていた民家をインターン生とともに「comore（コモレ）」というみんなの拠点として開放し始めました。大学生が来た時に泊まってもらってまちなかの魅力を探っています。あと、娯楽と大人の学び場が少ないと

思っているのです、何かやっていきたいですよね。

〈香蓮〉プラザ都で開催している健康教室やマルヒコの裏の民家で開催されているオンラインカフェが、地域の人と話すきっかけになってすごくいいと思っっています。話を聞くのってすごい大事だなと。

まちづくりの学校で「としま会議」の話を聞いて共感して、地域の人をゲストスピーカーとして招くトークイベント&交流会「のしろ会議」を4月下旬にやりたいねって湊さんと一緒に考えています。人と人がつながるイベントをやっていききたいですね。協力隊の卒業が近づいてきていて、これまでは周りに意識を向けてきたけど、自分にも目を向けて、自分が根付くほうに向き合って過ごしていきたいなと思っっています。

〈福田〉中心市街地活性化推進協議会の会長に就任した時に、再開発をなんで進めないのと言われたんです。でもスクラップ&ビルドをするための協議会ではないと思っっていて、今2人がやっている活動

そのものが、今日指しているまちづくりの方向性とものごく合致してきていると感じています。小さい活動かもしれないけどその積み重ねが大きなうねりになって、まちの姿そのものが変わっていくと思っっていて、だからすごく応援しているんです。

まちづくりって、応援してくれる人、一緒にやろうって言うってくれる人が共感してくれるストーリーをきちっと作っていくことが大事。湊さんも香蓮さんもストーリーをちゃんと持っているのがやっぱりすごいなあって。見方によつては、空き店舗とかかっていうのは活用できる有効な資産だと思っっていて、その資産をどうやって生かしていくかっていうプロセスをつくっていくのはすごく大事なことだと思っっています。

〈湊〉今あるものを有効にっていうストーリーは、みんなに響くじゃないですか。どう響かせるか、共感を得られるかっていうことは、まちづくりにには絶対必要なんですよ。



〈福田〉まちづくりで目指していくことは丁寧な未来をつくっていくことだと思っっていて、高校を卒業したら、能代から離れる方も多い。そんな

ときに、住んでいて楽しい、子育て世代にも高齢者にも、夢を持って戻ってくる人にも優しい、そんな丁寧な未来を一緒につくっていききたいですね。